

2025年

7
月号

キッズ NO.179



としょかんだよい





7がつのおすすめほん 「おばけ・こわいほん」



「ねんねのおばけ」

作：角野英子
絵：よしむらめぐ
出版社：小学館



こんやアコちゃんは、サーちゃんのうちにとまりにいきます。はじめてのおとまりにげんきいっぱい。いよいよ、おふとんにもぐりこむと…。あれ、あれ、あれ？てんじょうのすみっこになにかいるみたい。

「いるのいないの」

作：京極夏彦
絵：町田尚子
出版社：岩崎書店



おばあさんのすみのあるいえでしばらく暮らすことになった。家の暗がりが気になって気になってしまたない。腹の底から「こわい」をひきずりだす。

「おばけがふわふわ」

作：藤本ともひこ
出版社：小学館



いっしょに読んでいっしょに遊ぼ！おばけがふわふわやってきた。何をするのかな？かみの毛をもしゃもしゃもしゃ。ほっぺをつんづん。おへそをこちよこちよこちよ。この世界が子供たちの笑い声でいっぱいになりますように。

「おいで…」

作：有田奈央
絵：軽部武宏
出版社：新日本出版社



いぬさんぽちゅうで、ぼくはおなかが痛くなったので、公園のトイレへ。でもそこは、幽霊が出るといううわさがあり、トイレを使う人がいなくなったようだ。幽霊が出るなんて、どうせただの噂だ。大丈夫、怖くない。

「おんぶおばけ」

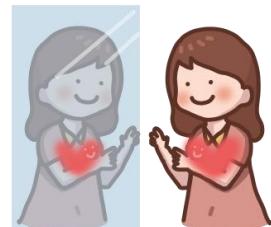
文・絵：いもとようこ
出版社：金の星社



おばけだって…おばけだって…おんぶされた～い！！こわーい（？）おばけと、やさしいばあちゃんの、心がほっこりする物語。

「かがみのなか」

作：恩田陸
絵：樋口佳絵
出版社：岩崎書店



家でも町でも、見ない日はないかがみと少女をめぐる不思議なお話。身近にひそむ恐怖の世界を描きます。かがみを見るたびに恐怖がよみがえる怪談絵本。

(内容は e-slip より引用)